



川西 IC 付近から六石山トンネル方面を望む



猪瀬 岸田橋からの眺め

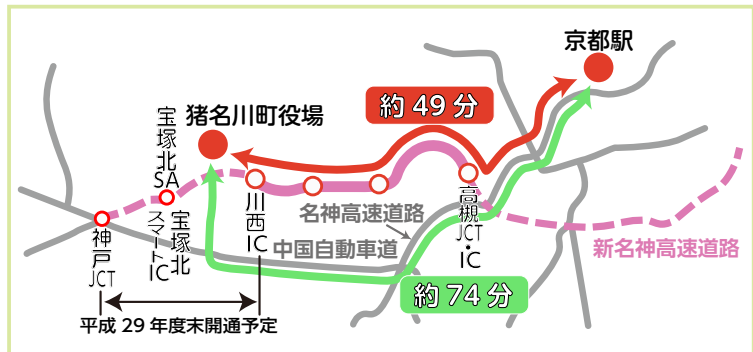


③オリーブ色の橋桁

何が便利になるの？
特派員 新名神高速道路が開通すると、どのようなことが便利になるのですか？
高谷さん まず、周辺高速道路ネットワークのアクセシビリティが向上し、移動時間の短縮が期待されます。例えば、猪名川町役場から京都駅まで行くのに、現状の道路を利用した場合約74分かかっていたところを、川西ICから新名神高速道路を利用すると約49分で行けるようになります。約25分も短縮。また、神戸方面へは、川西ICから神戸JCTまで約13分で行けるようになります。これまでより時間短縮が



NEXCO 西日本
猪名川宝塚工事区
高谷 隼人さん



期待されます。加えて、交通量が名神・中国道ルートと新名神ルートに分散されることで渋滞緩和も期待されます。
特派員 とても便利になります。うですね。中国自動車道を利

滞に巻き込まれるので、渋滞が緩和されるのはとても嬉しいですね！普段高速道路をあまり利用しない人にとっても、何かメリットはありますか？
高谷さん 各方面へのアクセスが良くなることで、町に新たな事業所ができて働く人が増えたり、観光で町を訪れる人も増えたりするなど、町全体がますます元気になると考えられますね。
特派員 なるほど、猪名川町が盛り上がるのは、住民みんなにとって良いことですね。
高谷さん また、災害の時、中国自動車道や名神高速道路と新名神高速道路の2本のルートがあることで、どちらか一方が通行止めになっても、もう一方のルートが代替路となります。人命救助や救援物資供給などが途絶えることなく行われ、お互いにバックアップ機能を発揮すること

特派員 それは大事ですね！阪神淡路大震災などの教訓が生かされているのですね。ルートが増えると安心です。
ちょっと気になることが…？
特派員 メリットはとてよく分かりました。ただ、地域住民としては、近隣住宅への騒音なども気になるのですが…。
高谷さん みなさんが心配されるのは当然のことです。猪名川町域では環境対策として遮音壁を設置しています①。ほかにも舗装や橋梁部の構造でも工夫していますよ。（4ページ参照）
特派員 トンネルみたいな遮音壁ですね！これなら騒音をかなり防いでくれそうです。
高谷さん また、ほかにはない猪名川町だけの工夫もあります。一部ののり面に、四季を感じる木（ソメイヨシノ、

特集に続き、ここからは私たちが「新名神高速道路」を紹介します。
「高速道路が完成したらどうなるの？」気になっていることについて、NEXCO西日本 猪名川宝塚工事区の高谷さんにお話を聞きました。



宝塚北サービスエリア（SA）がすごい！

普段、高速道路を利用しない人にもうれしいのが、宝塚北SAです。このSAには、高速道路を利用しなくても入ることができる「ウェルカムゲート」があり、誰でも気軽に立ち寄れるんです！宝塚大劇場を思わせるおしゃれな外観にもビックリ！それもそのはず、宝塚駅前「花のみち」周辺の南ヨーロッパ風の街並みを演出されているのだそうです。パティオ（広場）やドッグラン、多くの飲食店などもあり、「ここがSA!？」と思ってしまうます。

お友達とランチに来るのもよし、ワンちゃんを遊ばせに来るのもよし。オープンしたら、ぜひ一度足を運んでみてくださいね！



大野山でロマンチックなひとときを



▲ 12月2・3日、大野山にイルミネーションを飾り付け「あわてんぼうのクリスマス★ナイト」が開催されました。星空とイルミネーションの共演がロマンチックな雰囲気を醸し出し、来場者は一足早いクリスマスを満喫しました。

「町長賞」の2案、次年度実現に向け検討！



▲ 11月21日、文化体育館で、「第2回猪名川町の未来を描く高校生フォーラム」を開催。県立猪名川高等学校と猪名川甲英高等学校の生徒7組40人が企画提案を行いました。猪名川高校の生徒による「町の特産品などをたっぷり使った『猪名満』の商品開発」と猪名川甲英の生徒による「農業体験や地場産野菜を使った料理作りなどの独自のグリーンツーリズム事業」が町長賞を受賞。来年度、町の事業として実現するための検討を進めることに決まりました。

知的障害者のこと知ってほしい！



▶ 12月6日、ふらっと六瀬で知的障害者疑似体験講座が開催され、9月に発足した「いなキャラ」が初の講師を務めました。いなキャラは、手をつなぐ育成会が中心となり、有志の住民や行政職員などで構成する新たな団体です。知的障害者への理解を啓発する団体が個人や団体、行政職員と一緒に構成されるのは阪神間では先進的で、知的障害のある人が地域でみんなと一緒に笑って過ごせるようにこれから活動していきます。

お外で料理！おいしいね！！



▲ 11月26日、子育て支援センターでファミリー講座「アウトドアクッキング」を開催し13組44人の親子が参加。棒に生地を巻きつけて炭火で焼く「棒焼きパン」に焦げ目がついていい香りがしてくると、子どもたちは大喜び！参加者は野外での料理を楽しんでいました。

全国のB & G財団で初開催！



▲ 12月13・14日、町B&G海洋センターで障害者アートカフェを開催。「ソーシャルファームかがやき」や「希望の家すばる」の出店と「県立こやの里特別支援学校分教室」の生徒による絵画展示を行いました。担当者は、「障がいがある人もない人も、みんなが気軽に施設を利用するきっかけにできればうれしい」と話しました。

手軽に美味しく、栄養バランスも考えて！



手軽にできるミートローフや塩分濃度を測ってつくる野菜スープなどの調理を体験しました。薄味でも、野菜本来の味をいかしたスープはとても美味しいことなどをを感じる機会となりました。

いながわ野菜をおいしく食べよう

▶ 12月16日、猪名川甲英高等学校で小学4～6年生を対象に「ばくすく料理教室」を開催。町内産の白菜やシタケなどを使用した「クリームロール白菜」と「生白菜とりんごのサラダ」をつくり、参加者は旬のいながわ野菜を美味しくいただきました。この日のレシピは町ホームページで公開しています。



Happy New Year 2018



今年もまちを守るワン！

▼ 11月18日、総合公園で「白金わんわん見まわり隊」のメンバー35人と26頭が大集合し、しつけ教室を受講しました。同隊は、愛犬の散歩をしながら無理のない範囲でまちをパトロールし、地域の安全・安心に貢献していきたいとの思いで活動しており、現在の登録犬は182頭。

今年は戌年！ますます元気にみんなで頑張るぞ！



「いながわ」が誇る名所を巡る

